【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成16年12月16日(2004.12.16)

【公開番号】特開2000-29680(P2000-29680A)
【公開日】平成12年1月28日(2000.1.28)
【出願番号】特願平10-197461
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０６Ｆ　9/06
　Ｈ０４Ｑ　3/58
【ＦＩ】
　Ｇ０６Ｆ　9/06　５４０Ｍ
　Ｈ０４Ｑ　3/58　１０７

【手続補正書】
【提出日】平成16年1月15日(2004.1.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
記憶手段に記憶されたプログラムデータに基づいてプロセッサが所定の制御対象の制御を行う制御装置において、
前記記憶手段として、複数の記憶ブロックが設定され、記憶しているデータをこの記憶ブロック単位で書き換えることが可能な不揮発性のメモリ素子を備え、
かつ前記プロセッサは、前記メモリ素子が持つ前記複数の記憶ブロックの一部を第１領域に設定してこの第１領域に前記制御対象の制御処理を行う手順を記述した制御プログラムデータを記憶し、かつこの第１領域とは異なる記憶ブロックの少なくとも一部を第２領域に設定しこの第２領域に前記第１領域に記憶された前記制御プログラムデータの書き換え手順を記述した書換プログラムデータを記憶することを特徴とする制御装置。
【請求項２】
前記制御プログラムデータの書き換えが指定されているときには、前記プロセッサが前記第２領域に記憶された書換プログラムデータに基づいて動作して前記第１領域に記憶された前記制御プログラムデータの書き換えを行うことを特徴とする請求項１に記載の制御装置。
【請求項３】
前記制御プログラムデータの書き換えを指定するための書込設定スイッチを備えたことを特徴とする請求項２に記載の制御装置。
【請求項４】
前記制御プログラムデータの書き換えは、前記第１領域に既に記憶されている制御プログラムデータを外部から与えられる新たな制御プログラムデータで書き換えることを特徴とする請求項２に記載の制御装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】

【課題を解決するための手段】
以上の目的を達成するために本発明は、記憶手段に記憶されたプログラムデータに基づいてプロセッサが所定の制御対象の制御を行う制御装置において、前記記憶手段として、複数の記憶ブロックが設定され、記憶しているデータをこの記憶ブロック単位で書き換えることが可能な不揮発性のメモリ素子を備え、かつ前記プロセッサは、前記メモリ素子が持つ前記複数の記憶ブロックの一部を第１領域に設定してこの第１領域に前記制御対象の制御処理を行う手順を記述した制御プログラムデータを記憶し、かつこの第１領域とは異なる記憶ブロックの少なくとも一部を第２領域に設定しこの第２領域に前記第１領域に記憶された前記制御プログラムデータの書き換え手順を記述した書換プログラムデータを記憶することとした。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
このような手段を講じたことにより、単一のメモリ素子の一部領域（第２領域）に記憶された書込プログラムデータに基づいて、別の一部領域（第１領域）に記憶された制御プログラムデータの書き換えを行うことが可能となる。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３５】
【発明の効果】
本発明によれば、単一のメモリ素子の一部領域（第２領域）に記憶された書込プログラムデータに基づいて、別の一部領域（第１領域）に記憶された制御プログラムデータの書き換えを行うことが可能であるので、制御プログラムデータの書き換えを容易に行うことができ、しかも簡易な構成で安価に実現することができる。